
ベストピクチャー

まあみん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ベストピクチャー

【NZコード】

N2452A

【作者名】

まあみん

【あらすじ】

人生を絵に賭ける画家の話です。

(前書き)

この小説は、僕の好きな歌の歌詞を小説化したものです。

僕は画家、坂の下のぼろぼろなアパートに住んでいる。家賃は・・・
・高くない。

この安アパートは隣のビルのせいで日が全然当たらないんだ。

僕の宝物は、灯の当たらない部屋で唯一の光、電気スタンド。
絵を描くために大切な、筆。でも、やっぱりこれが無いと絵が描け
ない、机。

お金も無くて、食べるものも少ない、けどそんなことも忘れて僕
はひたすらに絵を描くんだ。

僕の絵は、こんな家に住んで、こんな暮らしをしたいといつ僕の「
夢」をキャンバスに塗りたくるんだ。でも、そんなものを描いたつ
て生活は楽にならない。そう思つて僕は涙を流すんだ。絵を描いた
後はいつもため息さ。

「ねえ、僕はここで生きてるよ。まだ、大好きな絵を描いてるよ。
ねえ、そこからは僕が見える?僕を認めてくれるの?」

僕は画家、坂の上のお城みたいな家に住んでるんだ。もちろん僕
の家だよ。

僕の家は、雲の上のような田の当たり具合なんだ。

僕の宝物は、手に入れた「地位」「名譽」「満足感」。
無くすことが怖いから僕はひたすらに絵を描いてるんだ。

「こんな風にしろ」と、筆も心も何かに縛られたままキャンバス
を塗りつぶすんだ。

流す泪やため息の色で。

「ねえ、僕はどこで生きてるの?なんで絵を描くの?」

「ねえ、あなたには僕が見えるの?僕を笑ってくれるの?」

僕の宝物ってなんだっけ?

思い出せずにいらついて、折ろうとした筆がこう言つた気がした。

「僕はずっと見てたよ。絵が好きなんだろう?」

「ねえ、僕はここで生きてるよ まだ絵を描いてるよ

ここからは、何が見えるの?僕が描かずにいられない景色!」

「ねえ、ほら見てくれよ! 生きてるんだよ?」

だって 絵を描いてるんだぜ! ? あなたにも見えるでしょう?

?

ベストピクチャー。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2452a/>

ベストピクチャー

2011年10月2日23時12分発行